

大規模震災が発生したとき わたしたちはどのように行動すべきか??

阪神・淡路大震災に学ぶ事業継続の要諦とリーダーの役割および地域の復旧・復興

大規模地震等が発生した場合、地域社会が大きな被害を受ける中で、自分のため、家族のため、同僚のため、地域のためにわたしたちはどのように行動すればよいのでしょうか？今年度の第1回セミナーでは、1995年に阪神・淡路地方を襲った大震災において、日本銀行神戸支店長として、事業継続活動の先頭に立ち、数々の英断で金融パニックをふせぎ、被災地経済の復興にご活躍された遠藤勝裕氏にご講演を頂きます。遠藤氏の貴重な経験や教訓を皆さんとともに共有し、本協議会の今後の取り組みに活かしていきたいと思えます。家庭、事業所、地域で行われる事業継続・防災活動等を見直すヒントがきっと得られることでしょう。どなたさまもふるってご参加下さい。

日 時：7月28日（金）15：00～17：00

15:00～15:10 あいさつ等

15:10～16:40 阪神・淡路大震災に学ぶ～大震災時におけるBCPの要諦およびその後の経済・社会復興への視点～

《講師》遠藤 勝裕（えんどう かつひろ）氏

独立行政法人日本学生支援機構 理事長 東京都教育委員会委員 元 日本銀行 神戸支店長

阪神・淡路大震災時には、日銀の役割はおカネを円滑に供給することであると
考え、日銀券の受払い、支払期日が過ぎた手形の扱いの決定、支店内への民
間金融機関の仮店舗設置等の災害対応を行うなかで、危機のときに大事なの
はリーダーシップだとも痛感しました。災害時及びその後の復興における具
体的な事例をもとに、様々な判断の背景や対応の実態をご紹介します。事業継続
及び経済社会復興のあり方や、災害時のリーダーの心得等について皆さんと
ともに考えたいと思えます。



【プロフィール】

1945年東京都出身、1968年日本銀行入行、1991年青森支店長在任時に台風19号に遭遇し被災したりんご農家支援に奔走、1995年神戸支店長在任時に阪神・淡路大震災に遭遇して金融パニック防止や復興支援に尽力した。

【主な著書】

『阪神大震災 日銀神戸支店長の行動日記』（平成7年12月、日本信用調査株式会社出版部）

『今だからこそ日銀の真実を語る カネは経済の血液、日銀は日本の良心』（平成14年9月、ビジネス社）

『くらしの防災手帳』（平成23年5月、ときわ総合サービス株式会社）

『被災地経済復興への視点～阪神大震災に学ぶ～』（平成25年6月、ときわ総合サービス株式会社）

16:40～17:00 意見交換等

場 所 工学院大学 新宿キャンパス3階 アーバンテックホール（所在地：新宿区西新宿1-24-2）
対 象 者 新宿駅周辺で働いている方、お住まいの方、駅周辺の商業施設をご利用の方、その他誰でも
参 加 費 無料
定 員 200名
申込方法 別紙参加申込書により2017年7月18日までにFAXでお申込み頂くか、ご所属、ご連絡先（住所、電話番号、e-mailアドレス）及びご参加者氏名を電子メールで、下記アドレス宛にご送付ください。
[申し込み先アドレス] bosai@city.shinjuku.lg.jp
問 合 せ 新宿区危機管理担当部危機管理課 担当：小林
電話 03-5273-4592 F A X 03-3209-4069

新宿駅周辺防災対策協議会セミナー参加申込書

2017年7月28日(金)開催

新宿区危機管理担当部危機管理課 小林 行 (FAX 03-3209-4069)

住所:

会社名:

電話番号:

e-mail:

FAX 番号:

参加者名	役職	参加者名	役職

※ご記入頂いた個人情報は、新宿駅周辺防災対策協議会からの各種連絡・情報提供のためにのみ利用いたします。
※3名以上ご参加の場合も、参加者名欄に参加される方全てのお名前をご記入ください。

アクセス



アクセス

JR「新宿駅」下車、西口より徒歩 5 分
京王線、小田急線、地下鉄各線「新宿駅」下車、徒歩 5 分
都営大江戸線「都庁前駅」下車、徒歩 3 分
西武新宿線「西武新宿駅」下車、徒歩 10 分

※ 駐車場はございません。お車でのご来館はご遠慮ください。